

ラグビーワールドカップ 2019 大阪・花園開催推進委員会
平成 28 年度第 2 回委員会議事概要

1. 日 時 平成 29 年 3 月 30 日 (木) 午後 3 時 00 分～午後 3 時 50 分
2. 場 所 ホテルプリムローズ大阪 2 階 鳳凰 (東)
(大阪府中央区大手前 3-1-43)
3. 出席者 委員総数 18 名
【出席委員 17 名 (代理出席含む)】
大阪府副知事 新井 純
東大阪市長 野田 義和
公益財団法人 大阪観光局 理事長 溝畑 宏
公益財団法人 大阪体育協会 会長 牧野 明次
大阪府市長会 会長 田中 誠太
大阪府障がい者スポーツ協会 会長 橋爪 静夫
大阪府町村町会 会長 松本 昌親
大阪府ラグビーフットボール協会 会長 西岡 保
関西エアポート株式会社 総務人事部地域交流グループリーダー 児玉 陽
一般社団法人 関西経済同友会 代表幹事 蔭山 秀一
公益社団法人 関西経済連合会 産業部副参与 服部 好志
関西ラグビーフットボール協会 会長 坂田 好弘
近鉄グループホールディングス株式会社 取締役専務執行役員 倉橋 孝壽
国土交通省 近畿運輸局 計画調整官 福元 稔
国土交通省 近畿地方整備局 企画部長 小林 稔
西日本旅客鉄道株式会社 執行役員近畿統括本部大阪支社長 川井 正
東大阪商工会議所 会頭 嶋田 亘
花園ラグビー場みらい魅力活性化委員会 会長

4. 開会及び開催都市挨拶

委員長の大阪府松井知事が欠席のため、新井副知事が代理出席し、委員長を務め、開始開会にあたり、委員長ならびに副委員長より挨拶を行う。

その後、委員長が委員会の進行を開始する。

また、本日、代理出席を含め 17 名の委員に出席いただき、規約第 9 条第 3 項の定足数を満たしていることから、会議が有効に成立した。

5. 決議事項

議案 1～3 を一括で審議していただく。

○議案 1 報 2016 (平成 28) 年度事業報告及び決算見込みについて

事務局より、資料 1-1、1-2 に基づき、**2016**（平成**28**）年度事業報告及び決算見込みについて説明を行う。

○議案 2：**2017**（平成**29**）年度事業計画及び予算について

事務局より、資料 2-1、2-2 に基づき、**2017**（平成**29**）年度事業計画及び予算（案）について説明を行う。

○議案 3：ラグビーワールドカップ **2019** 大阪・花園開催推進委員会規約の一部改正について
事務局より、資料 3 を参照しながら、説明を行う。

○委員からのご意見、ご質問
(委員)

- ・**2017** 年度の事業計画で、レガシーについての意識が非常に弱い。大会運営を成功させるというところはあっても、一過性ではなく、何を残していくのかについて、レガシーについて、事業に入れていくべきだと思います。
- ・育成のノウハウや、大会のノウハウなど、どう引き継いでいくのか。場所や組織をしっかり作るべき。子どもたちのラグビー人口が増えていない。育成をどうしていくのか、**2019** 年以降ラグビーをする子どもたちをどのように育てていくのか。裾野を広げていくべきで、将来のレガシーをどのように残すのかを、来年度に組み込んでいくべきだと思います。
- ・広報の分野において、**2019** 年に向かって推進委員会の皆さんで広報をしていくべきだと思います。
- ・ラグビーの教えには、いくつもの理念があります。「品位、品格、情熱、団結、尊重、強調」。日本の武士道のような考え方で、ラグビーをする意味を伝えていくべきだと思います。
- ・心に響くことを進めていくべきで、ラグビーの魅力について、伝えていくべきだと思います。
- ・指導者育成・運営マニュアルや、大会誘致、合宿運営ノウハウなどのレガシーをラグビー協会を中心に、皆さんと一緒に体制をつくって、盛り上げていくべきだと思います。
- ・レガシーは来年度から始めないと間に合わないため、問題提起をしたいと思います。

(事務局)

- ・レガシーについては、事業計画に明確に記載がありませんが、プロモーション実施に当たって、レガシーの要素を含めた形で事業を行ってまいりたいと考えています。
- ・ラグビー協会のご協力を得ながら進めていきたいと思っています。

(委員長)

- ・来年度の事業計画の中でも取り組めるものは取り組んでいくべきことですが、併せて、レガシー、あるいはラグビー人口増など次世代にどうつないでいくかについては、本委員会での議論又は、スポーツ振興の施策として、府や市いろいろな方々と展開していくべきこともあります。
- ・計画の中で、やれることをやっていくという形になるかと思っています。

(委員)

- ・ラグビーで今一番困っているのは、競技場が少ないことです。
- ・ラグビー専用として使えるのは、日本で3つです。
- ・施設がたくさんある中ラグビーをするというのが良い状態なので、ラグビーワールドカップに向けて施設が増えていけばと思います。
- ・5月の組分け抽選会もあまり周知されていない。
- ・下鴨神社は日本でラグビーを広めた場所です。組分け抽選会で海外から京都に来られるので、知ってもらいたいと思っています。
- ・また、ラグビーを広めたという石碑があり、祠があることから、精神的なレガシーを残していきたいと考えています。

(委員長)

- ・現在、花園ラグビー場はグレードアップに取り組んでいます。更なるグラウンドについては、検討したいと思います。
- ・5月の組分け抽選会に向けた盛り上げについて、事務局で考えていることがあれば説明をお願いします。

(事務局)

- ・先ほど、繰越事業として報告させていただきました件で、5月の組分け抽選会の時期に合わせたターミナルでのデジタルサイネージを、JR大阪駅、近鉄難波駅、関西空港で予定しております。併せて、ポスタージャックとして府内一斉にポスターを掲示したいと思います。

(委員)

- ・大会公式サポーターズクラブの件ですが、5万人を目指すとのことですが、今現在、何名加入されているのでしょうか。

(事務局)

- ・大阪は、**4500~5000**人です。

(委員)

- ・今登録されている10倍を目指さなければならないことから、先ほど事業報告にもありましたが、市長会含め市政だよりに掲載していくよう取組を行っています。今回のポスターにはQRコードもございますし、積極的に情報発信を進め、SNSを含めたネット上に情報を載せていくなどの取組をしっかりとしていき、サポーターズの登録を増やしていく仕組みづくりを進めていくべきだと思います。

(事務局)

・多くの自治体にご協力いただきありがとうございます。5月の組分け抽選会、特に秋には試合日程発表等が控えていますので、第1波、第2波と波を打つように、皆様にもご協力をいただきながら取り組んでいけたらと思います。

(委員)

・レガシーについて、プロモーションの中に入れるということですが、責任の所在が不明確になることから、はっきりと計画に記載して、どこが責任もって形にするのかというのを明記すべきだと思います。

・具体的に言いますと、ワールドカップを大分で行った際、中津江村にキャンプのレガシーを残すために、職員1名を芝生養生のためドイツに派遣し、もう1名は、海外からの受け入れのためシェフとして勉強に行かせました。

・しっかりとの方針を示した上で、行っていかなければ流れてしまいます。

・今後、息を長く行っていかなければならないことから、計画に書いておかないといけないと思います。

・広報プロモーションに入れるだけでなく、どこが責任を持つのか、どこに相談にいけばいいのか、誰が大会誘致を行うのか、誰が育成マニュアルを作るのか、そこまで決めていかないとレガシーはできないと思います。

(事務局)

・レガシーについては、昨年度の第1回でもお話しがございましたので、私共の大会運営の枠組みを使いまして、レガシーを検討する部会が出来ないか、一度事務局内部で検討させていただきたいと考えています。受け皿の形として、どこがレガシーとして担うのか、明確な位置づけというものを検討するような部会の設置を検討したいと思います。

(委員長)

・今の事業報告、事業計画は、推進委員会としての事業報告、事業計画ですので、委員ご指摘のとおり、誰が責任をもつてするのかというのを事業計画に記載するのであれば、推進委員会としてやるということになると思います。しかし、レガシー等諸々について誰がするのかというのは、責任をもって記載しなければならないことから、その部分を含めて検討する必要がありますので、部会の中でどういったことをするのかははっきりしていかなければならないので、至急に検討させていただく。今の責任の中で推進委員会として書き切れる分があるのであれば、推進委員会としてこれからの計画の中で検討していきたいと思います。よろしいでしょうか。

・議案1～3について、今いただいた意見も踏まえて、修正すべきところは修正させていただきたいと思います。その点については、私に一任してもらえたらと思います。そういうことも踏まえて意義ありませんでしょうか。

【～異議なし～】

全員異議なく承認された。

6. 報告事項

東大阪市長より花園ラグビー場の改修工事について報告を行い、詳細について、プロジェクターを使用し、事務局より説明を行う。

以上をもって全議案の審議、報告、質疑応答を終了した。